

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市青山台3丁目計画	階数	地上8F、地下1F
建設地	吹田市青山台3丁目	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内、第1種中高層住居	平均居住人員	412 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年11月6日
敷地面積	7,965 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計 矢川修宏
建築面積	2,578 m ²	確認日	2019年11月6日
延床面積	12,889 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計 矢川修宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 41%

③上記+②以外の 41%

④上記+ 41%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	十分な昼光率及び階高の確保、F☆☆☆☆建材の使用や高度情報通信設備への対応など、居住者のための快適な居住空間の形成がなされており、部材の耐用年数やLED照明の採用など地球環境への配慮をしている。	その他 LED電球を採用
Q1 室内環境	昼光率2.5%を確保し、庇・ブラインド・カーテンを組み合わせて光を制御 ほぼ全面にF☆☆☆☆の建材を使用	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー	「日本住宅性能表示基準」断熱等性能等級4相当、BEI=0.88	LR3 敷地外環境 建物利用者のために十分な駐輪場及び駐車場が確保されている
Q2 サービス性能	躯体材料の耐用年数において「住宅の品質確保の促進に関する法律」評価方法基準で等級3相当	
LR2 資源・マテリアル	特に無し	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0101

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市青山台3丁目計画						
		建設地	吹田市青山台3丁目						
		用途/区分	集合住宅 物販店						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A		
①	CO2削減					5			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					4			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.9	4		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.3	4		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入		LED			LED照明の採用				
特に配慮した事項									